

吾輩は猫である．名前はまだ無い [1]．どこで生れたかとうと見当がつかぬ．何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している．吾輩はここで始めて人間というものを見た．



図 1 夏目漱石の写真（引用元：[夏目漱石 - Wikipedia](#)）

参考文献

- [1] 夏目漱石．吾輩ハ猫デアル．大倉書店, 1905．